

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和3年11月10日 No. 33 文責：佐野紳二

あいさつについて なぜ、人は「あいさつをしましょう」というのか

先週の木曜日と金曜日、青少年育成南アルプス市民会議のみなさんがお忙しい中、朝の登校時間に合わせて本校にあいさつ運動に来てくださいました。(ホームページでも紹介させていただきました) 地域に皆様と一緒に、児童会役員も校門のところで「おはようございます！」と元気にあいさつをし、いつも以上に子どもたちの明るい声が響いた2日間となりました。



私たちが社会生活を営む上で、「あいさつをする」ことはとても重要視されています。以前、話をしたことがある会社の経営者の方は「勉強がちょっとくれえできなんでもいいけど、あいさつができん奴は駄目さ！」



と、流暢な甲州弁で語ってくださいました。学校でも、さまざまな機会にあいさつをすることの大切さを子どもたちに伝えていきます。私もこれまでいくつかの学校に勤務しましたが、児童会(生徒会)活動であいさつ運動に取り組んでいない学校はありませんでしたし、校長として本校に赴任し、子どもたちにした話の中でも「あいさつをしよう」ということを伝えました。

では、なぜこれほどまでに「あいさつをすること」は世の中で大切にされているのでしょうか?あるいは、子どもに「どうしてあいさつをするの?」と聞かれたら、どのように説明するのでしょうか?そんなことがちょっと気になり、調べてみることにしました。

あいさつをすると、こんないいことがある

私は楡形北小の子どもたちにあいさつの話をした時には、「あいさつは、みんなが仲よくなるための魔法の言葉です。」という言い方をしました。また、ある人は「あいさつをするのは、あいさつをした方がしないよりも幸せになれるからだよ。」と教えてくれました。

あいさつをすることの意義やよさについては、いろいろな人がいろいろな説明をしています。その中から、私が「とても上手に説明しているなあー」と思ったものを紹介します。

1 感謝を伝えられる

あいさつを通して、相手に感謝を伝えられます。

「感謝」の気持ちを込めてあいさつをすれば、相手にもきっと伝わるはず。心のこもったあいさつは喜ばれるでしょう。相手に感謝すればするだけ、自分にも返ってきます。感謝で溢れた素敵な毎日を過ごせるようになるでしょう。

2 存在を認めているということを示せる

「心を開く」ということは、「存在を認めている」ということ。あいさつは、相手がいるのがわかったから「声をかけよう」と思ってするものですよね。逆に、あいさつしないということは「存在してないかのように扱っている」と示すことにもなりかねません。あいさつは承認欲求を満たす役割も持っているのです。



3 仲良くなるきっかけになる

あいさつは、仲良くなるための最初の一步。何回もあいさつすることで、相手もあなたに心を開きやすくなるでしょう。知っている人がいない場所に行くと、あいさつが話すきっかけになったことはありませんか？それはお互いが「この人は私に心を開いてくれたのかも」と思えたのでしょう。仲良くなりたい人に会った時、初対面の人が多い時こそ、積極的にあいさつをおすすめします。あいさつをきっかけに、一生大切にしたい人に会えるかも。

4 印象の良さを与えられる

第一印象は持続するとも言われています。あいさつは出会ってすぐするもの。あなたの印象を大きく左右するのは、あいさつには5秒ほどしかかかりません。それで良い印象を与えられて仕事にまで影響するのなら、お得ですね。

5 緊張をほぐせる

あいさつには緊張をほぐす力もあります。緊張していてもあいさつをされるとほっとしますし、自分も声を出すことで緊張が解かれるのです。



いかがでしょうか？その他にも、「あいさつをすると、した分だけ相手に（自分の）プラスポイントがたまるから」とか「場の雰囲気がよくなるから」「社会の常識・万国共通のルールだから」なんていう理由を挙げる人もいます。

あいさつをしないで叱られたことはありますが、あいさつをして叱られた記憶はありません。「知らない人に声を掛けるのは危険だ。」という理由で、マンション全体であいさつすることを禁止したところもあるなんて、何とも世知辛い話を聞いたりすることもある今の世の中ですが、できれば、



自分もできるだけ出会った人には気持ちのよいあいさつをしたいなあ〜と思っていますし、子どもたちにもあいさつができる子になってほしいと思っています。そして、子どもに「どうしてあいさつをしなきゃいけないの？」と聞かれたときには、自信をもって「それはね…」と伝えられる大人でありたいとも思っています。

動物園と科学館に行ってきました 1年生・生活科見学

9日（火）に、1年生と一緒に甲府市の遊亀公園附属動物園と県立科学館に行ってきました。初めてのバスを使つての校外学習ということで、出かける前から1年生はウキウキ・ワクワクといった感じでした。

この日はあいにくの雨で、午前中の動物園は傘をさしながらの見学となってしまいました。気温も低く、時折激しさを増す雨に、子どもたちからは「寒いねー」とか「靴下まで濡れちゃった」なんていう声も聞こえましたが、それでもゾウやライオン、フラミンゴ、ペンギンなど、それぞれに興味のある動物をよーく見て、歓声を上げていました。

県立科学館では、おうちの人がつくってくださった美味しいお弁当を食べてから、スライムづくりに挑戦しました。赤・青・黄の3色の色水を混ぜて、自分の好きな色をつくり、洗濯のりとホウ砂を混ぜてスライムをつくりました。残りの時間でさまざまな施設にも触れることができ、とても楽しい1日になりました。

生活科見学の様子は、ホームページ「学校のひろば」にも掲載しました。よかったらそちらもご覧ください。

